

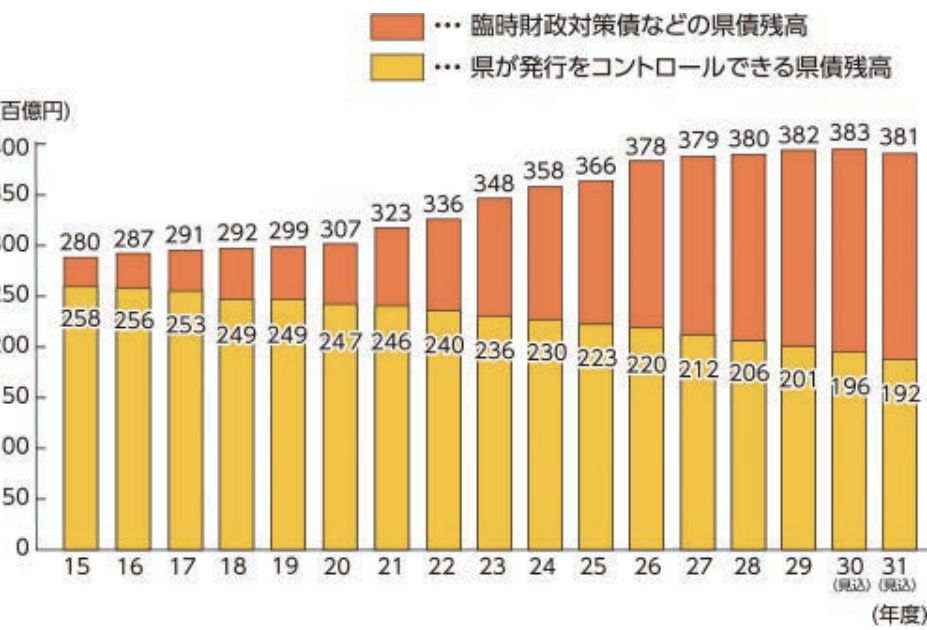
- 【災害に強く環境にやさしい埼玉】
- ・橋りょうの耐震性向上や県と市が連携した浸水対策を推進します。
⇒県道路環境課、県河川砂防課

・世界中で海洋汚染問題となっているマイクロプラスチックの削減に向け、川の国埼玉から取り組みを開始します。
⇒県水環境課、産業廃棄物指導課、資源循環推進課、産業支援課
- 【稼ぐ力の向上で経済活性化】
- ・今後の成長が見込まれる医療産業や、航空・宇宙産業などの研究開発・事業化を支援。
⇒県先端産業課

県債残高の状況

31 年度末の県債残高は約 3 兆 8122 億円。前年度末に比べ約 168 億円減少する見込みです。また、臨時財政対策債※1・減収補填債を除いた、県が発行をコントロールできる県債の残高は約 437 億円減少する見込みです。
※1 県債の一つ。国から地方交付税として交付されるべき額の不足分を県が代わりに借り入れるもの。元利償還金相当額は後年度の地方交付税で全額措置される。

【一般会計県債残高の推移】



【主な用語解説】

- ・**一般会計**：県の会計の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費全般を計上
- ・**地方消費税清算金**：国から払い込まれた地方消費税を、消費地と課税地を一致させるため、一定の基準により都道府県間で清算したもの
- ・**県債**：県の長期借入金
- ・**地方交付税**：所得税、法人税、消費税など国税の一定割合を人口、面積などに応じて国が地方公共団体に交付する税。地方公共団体固有の財源
- ・**国庫支出金**：特定の事業を行うために国から交付される負担金、補助金および委託金
- ・**公債費**：過去に借り入れた県債の元金の返済や利子の支払いなどの経費

【新しい「草加づくり」が前進】

1. 前進しています。東埼玉道路の高速道路化について
- 国土交通省関東整備局や埼玉県、さいたま市、高速道路会社などで組織する埼玉県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループが、「外環道から国道16号間の高速道路の整備に向け、「(仮称) 東部地区道路検討会を新設」することを決め、NEXCO 東日本が入った本格的な検討が始まりました。
- 昨年、私も事務局となり実現をした6月9日の石井国交大臣の

東埼玉道路視察以降、「事業化採択の内示」に向け、本格的な動きが出てきています。今後は、新たな街づくりも共に進められる東埼玉道路の高速道路事業化のための予算採択と共に、早期着工ができる様、国とのネットワークを最大に活かして取り組んでまいります。



2. どこまでも「安全・安心」で、誰にもやさしい、住み良い草加を創ります。

MaaS マース (モビリティ・アズ・サービス) などを社会インフラとする新しいまちづくりの協議が始まりました。

これまで、西田参議院議員と共に、国交省、さいたま市と地元草加市を含む、県南東部5市1町(草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)と連携して進めてきた。新しいモビリティサービスによる「まち」づくりが、いよいよ始まります。

6月8日(土)にさいたま市大宮区の東日本連携センターで、『新たなモビリティサービスによる「まち」づくり協議会』(略称 MaaS 協議会) の設立にあたっての記者会見が行われました。

さいたま市と5市1町が相互に協力・連携して、広域的な新たなモビリティサービス(移動手段)の導入を目指し、社会的課題(高齢の免許返納者や障がいのある方の”移動の自由”の確保、高齢者・障がいのある方に配慮したバリアフリー化されたやさしい街の実現、少子高齢化と運転手不足で公共交通サービスの縮小・撤退が起きている。渋滞による救急救命搬送への支障)の解決のため MaaS などを社会インフラとするまちづくりを検討するための協議会が設立されました。

アドバイザーとして、筑波大学 名誉教授・特命教授、日本大学交通システム工学科 特任教授であり、都市交通、まちづくり、モビリティサービスの専門家である石田 東生先生の参加を頂きました。今後、協議を重ね、全国で初めて、自治体発の自動運転を含む新しい未来型の都市の創造がこの地域で始まります。



※次号では、議会質問や要望活動を通して、新年度予算に盛り込まれた蒲生徳明の実績についてご報告させていただきます。

埼玉県議会議員【草加市選出】

のりあき

がもう徳明

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA

県議会ニュース

2019. 新年度版

草加市新里町 1422 番地
☎ 048-929-2366

県政に関するご意見
ご要望をお寄せください。
TEL048-822-9606
FAX048-822-9408
公明党埼玉県議団ホームページ
www.komei-saitama.com

令和元年、「新しい埼玉」「草加」づくりに全力で取り組みます。



新しい時代が始まりました。本県も「新時代へのチャレンジ予算」と銘打った新年度予算のもと様々な政策が実行されます。今回の私の県政報告は、ごく最近の活動報告と、県の新年度予算の概要、そして「新しい埼玉」「草加」づくりのために、国、県、市のネットワークで進めてきた東埼玉道路の高速道路化や、MaaS を中心とした、新時代のモビリティサービス(移動手段)への取り組みなどをご報告させていただきます。
県民、地元草加市民の皆様、今後とも、尚一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

南1区草加市
県議会議員
蒲生 徳明

最近の主な活動から

県教育局特別支援教育課と 草加かがやき特別支援学校保護者との意見交換会

2019 年 1 月 29 日
昨年 11 月、事前に要望をお聞きした後、県担当課と保護者との意見交換会を行いました。保護者から、過密化対策、教育環境の整備、新校・分校・高等特別支援学校などの学校の設置など、現場発の切実な要望が伝えられ、課長より、「学校現場を拝見して、一つ一つできるところから対応していきたい。」との真摯な回答がありました。



【保護者との意見交換、議会質問を通して実現できたこと】

- ①草加かがやき特別支援学校改修等 (県特別支援教育課)
- 

1 物置の設置 (中庭)



2 カーテンの整備 (11 部屋)



3 三階水道・洗面台の整備

4 グランドの整備 (年度内2回) H30 年 12 月、H31 年 3 月実施

②昨年 12 月議会質問を通して

質問と対応状況

草加かがやき特別支援学校の過密対策について
答弁者：教育長

①平成 3 1 年度から越谷市在住で高等部への入学を希望する生徒は、本人、保護者の意向を確認の上、地元の越谷西特別支援学校で受け入れる。
⇒越谷西、草加かがやき両特別支援学校及び越谷市教育委員会と連携し、運用中。

②平成 3 2 年度に川口市在住で小学部 1 年生になる児童は、川口特別支援学校へ入学できるようにする。
⇒川口市教育委員会と連携し、運用。

③平成 3 3 年 4 月の県南部地域特別支援学校(仮称)開校に合わせ、草加かがやき特別支援学校を含め、近隣の特別支援学校の通学区域を再編する。
⇒通学区域の再編対象となる各特別支援学校において、保護者説明会を実施。来年度以降も継続して実施予定。その後、通学区域の再編対象となる各特別支援学校において、希望する保護者と個別相談会を実施。今後も必要に応じて実施予定。

④その他の取組
⇒県立松伏高校内に県東部地域高校内分校(仮称)を整備する。
平成 3 1 年度 設計、平成 3 2 年度 工事、平成 3 3 年度 開校

草加市立高砂小学校を訪問。 体育館のエアコン設置について学校長と懇談

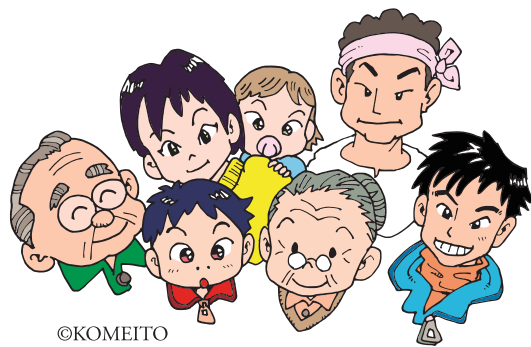
2019 年 3 月 21 日
懇談の席で、学校長より、近年、猛暑が続く中、幾つかの行事が中止となり、体育館へのエアコンの設置について改めて要請がありました。草加市では当初、市内体育館へのエアコンの設置については多額の予算がかかり困難な情勢でしたが、「災害時に避難所となる体育館」との位置づけで利用できる国の防災関連予算を私が市に提案し、市議団とも連携して実現の運びとなりました。2024 年度までに、全小中学校の体育館にエアコンが整備されます。



埼玉県草加児童相談所を視察

2019 年 5 月 14 日

県への要望を進めてきた結果、本年 4 月より、越谷児童相談所草加支所が、支所から本所に格上げとなりました。専任の所長が配置され、職員増や里親推進担当の配置など、機能が強化されました。視察を通し、今後、更に機能が強化できる様に、警察、草加市との連携の在り方、対応数に追いつかない職員体制や施設環境の整備など、今後とも県議会で取りあげていきます。



埼玉県草加警察署を視察

2019 年 5 月 14 日

視察を通し、児童虐待における児童相談所と警察との連携。又、交通事故対策、特殊詐欺対策等についての現状や、草加署の取り組みについてお聞きしました。

全国 1 の負担率である埼玉県警の中でも指折りに多忙な草加署ですが、署長は、「草加市役所、そして町会、学校、PTA の皆様等、多くの市民に支えられていることに感謝します。」と訴えておりました。今後とも草加署の皆様と連携を密にして県民、草加市民の安全安心のために働く決意です。



埼玉県議会初顔合わせ会

2019 年 5 月 17 日

埼玉県議会初顔合わせ会が開催され、私は、5 期目の本格的なスタートを切りました。ご期待に応えられる様、新たな決意で頑張ります。会では、平成 31 年 4 月 7 日に行われた埼玉県議会議員一般選挙で当選した新議員の紹介などが行われました。会合後、公明党議員団 9 名で記念撮影を行いました。



埼玉県議会 5 月臨時会が行われました。

2019 年 5 月 24 日

令和元年 5 月臨時会が開かれ、議長・副議長選挙や各委員会委員の選任などが行われました。私は、「警察危機管理常任委員会副委員長」（公安委員会及び危機管理防災部に關する事項を審査）に、又、「地方創生・行財政改革特別委員会委員」（地方創生、魅力ある地域づくり、行財政・職員の働き方改革及び情報技術の活用に関する総合的対策について審査）に選任されました。

山梨県富士河口湖町のシニアドライバー支援事業を視察

2019 年 5 月 31 日

公明党県議団で、山梨県富士河口湖町のシニアドライバー支援事業を視察。

地域的に、高齢になっても車が離せない方達に、研修を通して一日でも長く安全運転をしていただける様にするための取り組みです。本県でも、年間 2 万 2 千人の高齢者が免許を返納しています。新たな足の確保のために、公共交通の充実と共に、少しでも長く安全に運転をしていただくために、富士河口湖町の様な高齢者研修制度を埼玉県でも進めるべきと感じました。



令和元年埼玉県議会6月定例会が開会しました。

2019 年 6 月 17 日

令和元年 6 月定例会は 6 月 17 日から 7 月 5 日まで行われます。

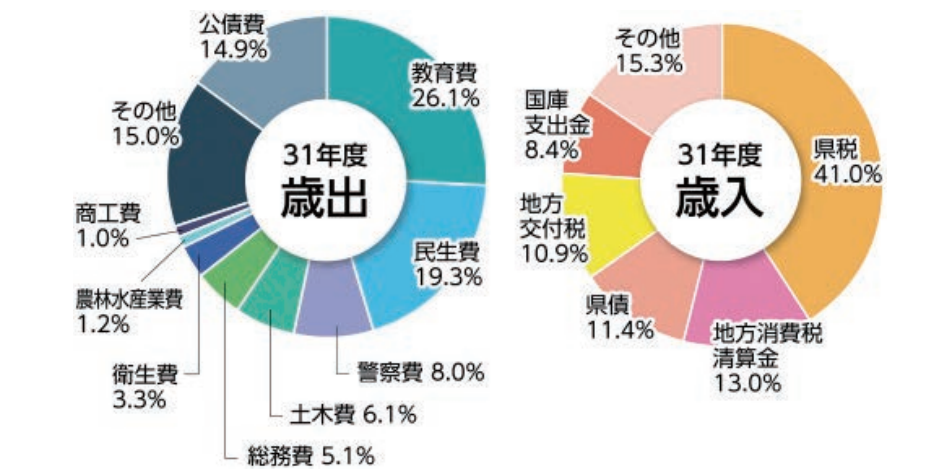
【埼玉県令和元年度当初予算の概要】

彩の国だよりから一部転載

当初予算額 1 兆 8,884 億 6,000 万円前年度比 1.2%増

「新時代へのチャレンジ予算」

新年度は新たな元号の下で日本がスタートを切る「節目」の年。県の当初予算は「輝け 100 年人生」、「スマート社会の実現」、「魅力的で持続可能な埼玉」を柱にした「新時代へのチャレンジ予算」です。



◎新年度予算に、公明党県議団の要望（現場を歩き、又、県民から直接届けられた相談などを基にまとめられる。）を反映させるために、それぞれの議員が議会質問、要望活動を行うと共に、各種団体との意見交換会や、知事への要望を行っております。



①各種団体から県への要望を聞く（昨年 9 月 12 日から 3 日間で 49 の団体と）



◀②知事への新年度予算要望（昨年 10 月 13 日）分野別に 272 項目を要望）

◆主な予算の内容◆

【輝け 100 年人生】

【子供の居場所づくりとジュニア支援】

- ・「子ども食堂」など子供の居場所づくりを広げるため、担い手の発掘やアドバイザーによる立ち上げ支援を行います。
⇒県少子政策課
- ・貧困の連鎖の解消に向け、小学生の学習・生活支援などを行う「ジュニア・アスポート事業」を全県展開するため、コーディネーターを設置し、教室の立ち上げ支援などを行います。
⇒県社会福祉課

【あらゆる人のチャンス拡大】

- ・ひとり親を対象に、就職や生活支援などの役立つ情報を発信するとともに、ひとり親の低所得世帯向けに県営住宅を供給します。
⇒県少子政策課、県住宅課
- ・シニアを対象に初めて地域活動に参加する「地域デビュー」の支援、セカンドキャリアセンターによる就職支援を行い、セカンドライフの充実を促進します。
⇒県共助社会づくり課、県シニア活動推進課

【安心・安全・健康】

- ・振り込め詐欺の被害防止を図るため、通話録音装置などの振り込め詐欺対策機器に実際に触れてもらうワークショップ型の啓発活動（体験型講習会）を実施します。
⇒県防犯・交通安全課
- ・県たばこ税の一定割合を財源とした基金を創設し、受動喫煙防止対策の強化やがん検診受診率の向上など健康関連施策を推進。
⇒県保健医療政策課、健康長寿課、疾病対策課

【スマート社会の実現】

【第 4 次産業革命の促進】

- ・AI（エーアイ）^{*3}や IoT（アイオーティー）^{*4}など、新たな技術を活用した中小企業の生産性向上への取り組みや新製品の開発、人材育成などを支援します。
⇒県先端産業課
※ 3 人工知能
※ 4 さまざまなモノがインターネットに接続すること
- ・AI などを活用したお茶の生産管理システムの構築に向け、茶園の環境データなどの収集・解析を行います。
⇒県生産振興課

【みんなで実感スマート社会】

- ・本県独自の学力・学習状況調査で得たビッグデータなどを AI で分析し、個々の児童・生徒の状況に応じたきめ細かな学習支援の実現を目指します。
⇒県義務教育指導課、県高校教育指導課
- ・生徒の深い学びを支援するため、県立高校にタブレット端末などの ICT 環境^{*5}を整備するとともに、私立学校の ICT 環境を整備の支援を強化します。
※ 5 情報通信技術
⇒県高校教育指導課、学事課

【更なる県庁スマート化】

- ・AI を搭載した OCR（オーシーアール）^{*6}の導入や、RPA（アールピーイー）^{*7}の活用による業務自動化により、職員が政策立案に集中する時間を創出します。
⇒県改革推進課
※ 6 手書きの文字などを、文字データに変換する技術
※ 7 パソコンで行う定型的な事務処理を自動化する技術
- ・犯人を早期に検挙し、県民の安全安心を守るため、AI を活用した犯罪捜査の効率化を図ります。
⇒県警察本部刑事総務課

【魅力的で持続可能な埼玉】

【ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどによる魅力創出】

- ・カウントダウンイベントの実施などにより気運醸成を図るとともに、大会の成功に向けた開催準備を着実に進めます。
⇒県ラグビーワールドカップ 2019 大会課、県オリンピック・パラリンピック課
- ・外国人旅行者が何度も訪れたいような埼玉ならではの体験型旅行商品を提案し、外国人旅行者の誘致を強化します。
⇒県観光課